5 アルバイトについて

アルバイトの週平均日数…… 50
授業期間中のアルバイト日数は週に３日以内が大半
「２日以内」51.2%、「３日」26.5%、「４日以上」15.3%

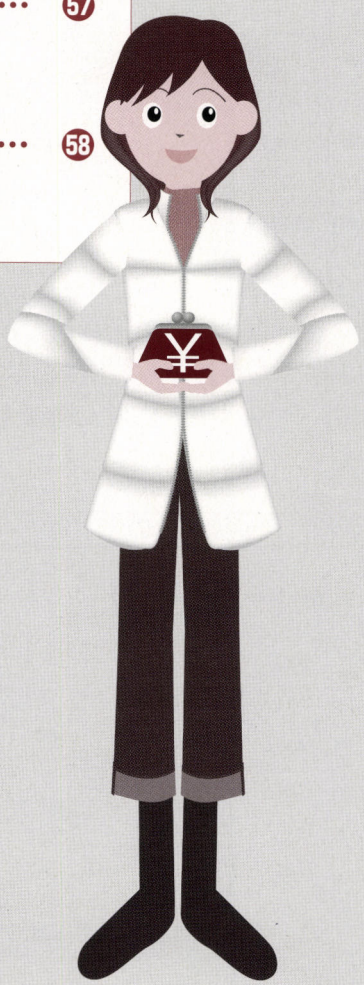
アルバイトの目的…… 52
アルバイトの目的はいろいろ
「生活維持」32.3%、「身の回り品」28.5%、「コンパ・交際費」23.0%

アルバイトと勉強との関係…… 54
アルバイトは勉強の妨げになる
「妨げになる」、「やや妨げになる」をあわせると37.9%

月平均収入…… 56
平均収入は約４万円
「４万円」22.4%、「６万円」22.4%

経済的な独立度…… 57
経済的に独立している人ほど勉学に意欲的
独立している学生ほど授業出席率が高い

奨学金制度…… 58
奨学金制度はある程度充実している
「思う」、「やや思う」をあわせると学部学生：51.7%、大学院学生：62.9%



授業期間中のアルバイト日数は週に３日以内が大半

アルバイトの週平均日数

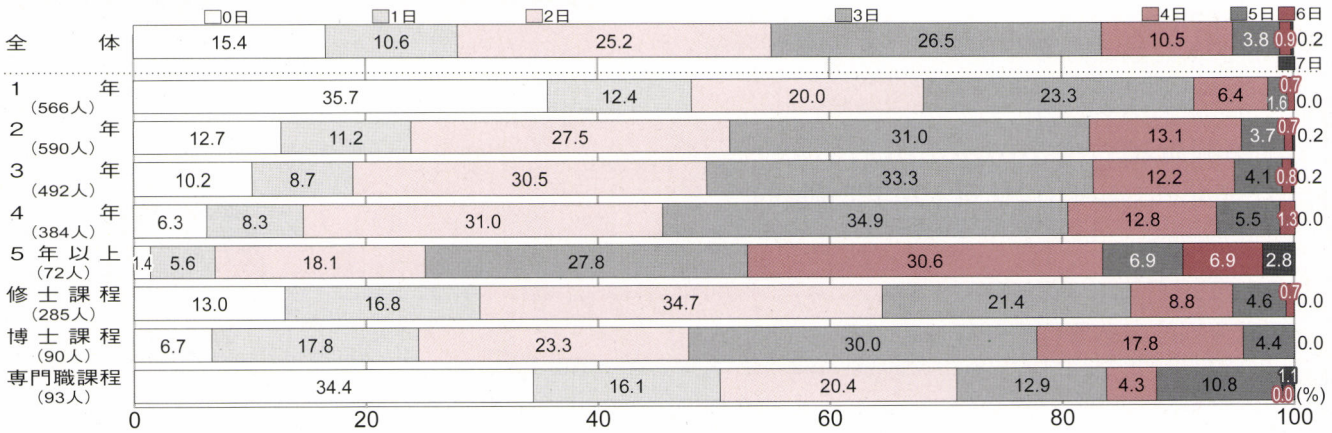
POINT 「2日以内」**51.2%**、「3日」**26.5%**、「4日以上」**15.3%**

授業期間中、アルバイトの週平均日数を学年別に比較してみます。アンケートを実施した５・６月では、１年生の３人に１人はアルバイトをしていないという回答でした。学年が上がると日数は増加しますが、５年以上を除くと、週に３日以内で約８割の比率になっています。

グラフには示していませんが、文系・理系を比較すると、「２日以内」が文系：51.5%、理系：66.7%、「３日」が文系：30.1%、理系：23.3%、「４日以上」が文系：18.4%、理系：10.0%となっていました。理系の方がアルバイトをする日数が少ない傾向にあります。

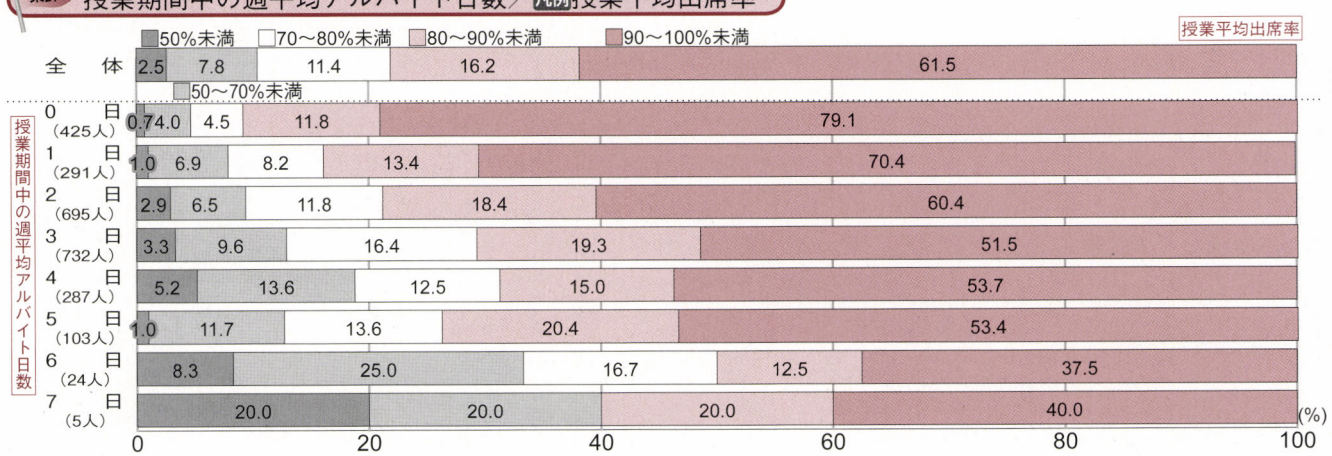
また、グラフには示していませんが、自宅外の方が「０日」の比率が5ポイント高くなっていました。自宅の方が、アルバイト先を見つけ易いということでしょうか。

授業期間中の週平均アルバイト日数　学年別



週平均アルバイト日数と授業平均出席率の関係を見てみましょう。明らかに予想されることですが、アルバイト日数が増加すると出席率が低下します。「３日」から「５日」の出席率は同じ程度ですが、「６日」を超えると急激に低下しています。アルバイトと勉学の両立を慎重に考えることが大切です。

クロス集計　授業期間中の週平均アルバイト日数／凡例 授業平均出席率

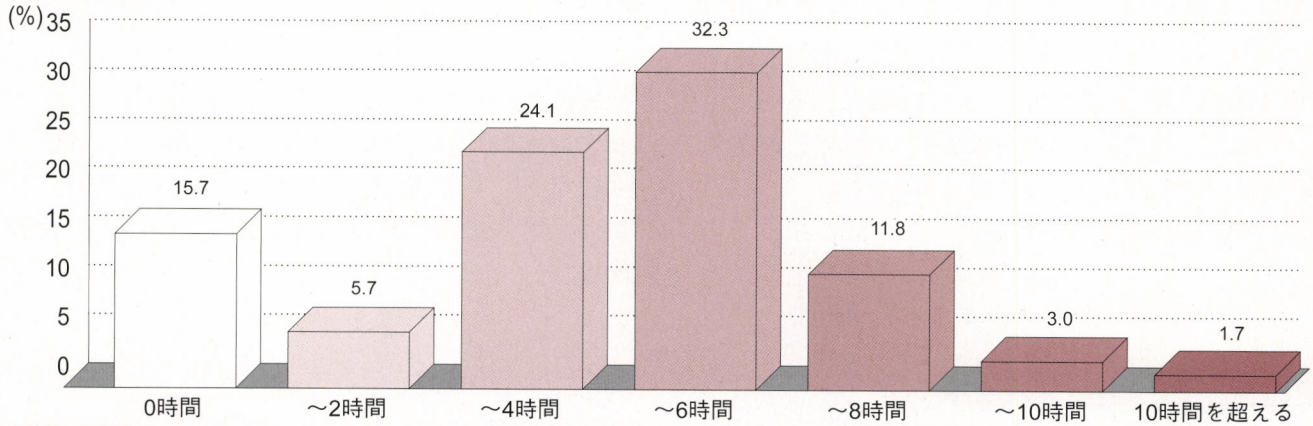


１日あたりのアルバイトの時間数を見てみると、「４時間」から「６時間」が多くなっています。学部学生・大学院学生で比較すると、大学院学生の方が時間はやや少なめです。

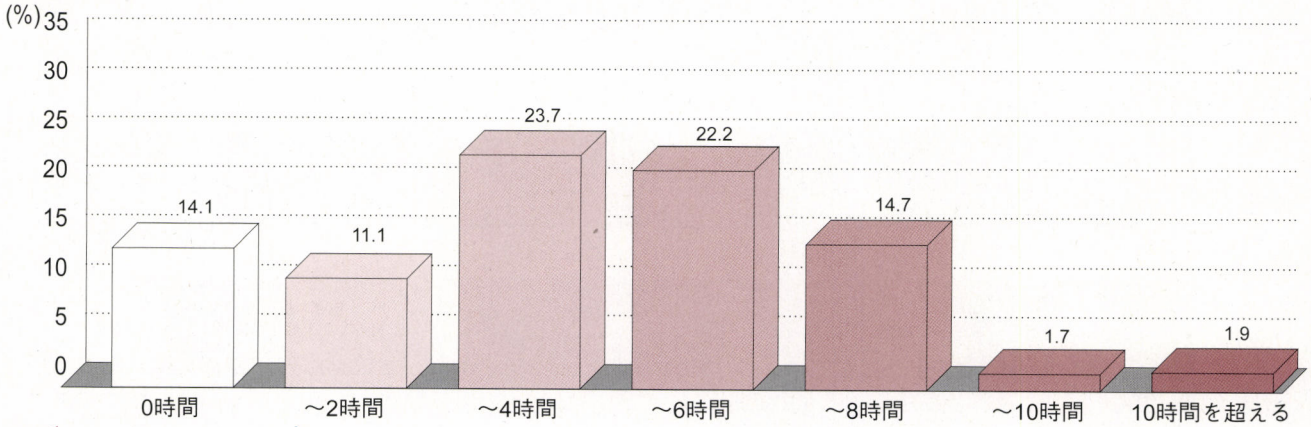
１日あたりのアルバイトの時間数と授業平均出席率には相関があります。アルバイトの時間数が増加するほど出席率は明確に低下しています。

授業期間中１日あたりのアルバイト時間

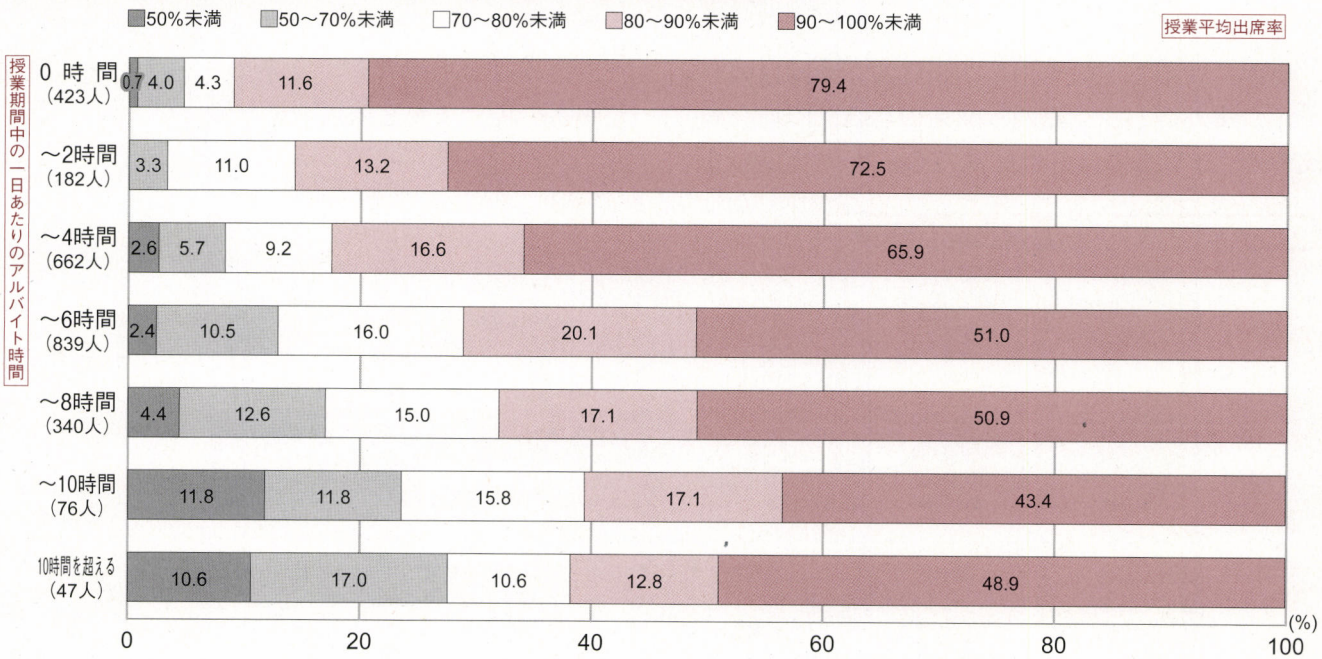
学　部



大学院



クロス集計　授業期間中１日あたりのアルバイト時間／凡例 授業平均出席率



アルバイトの目的はいろいろ

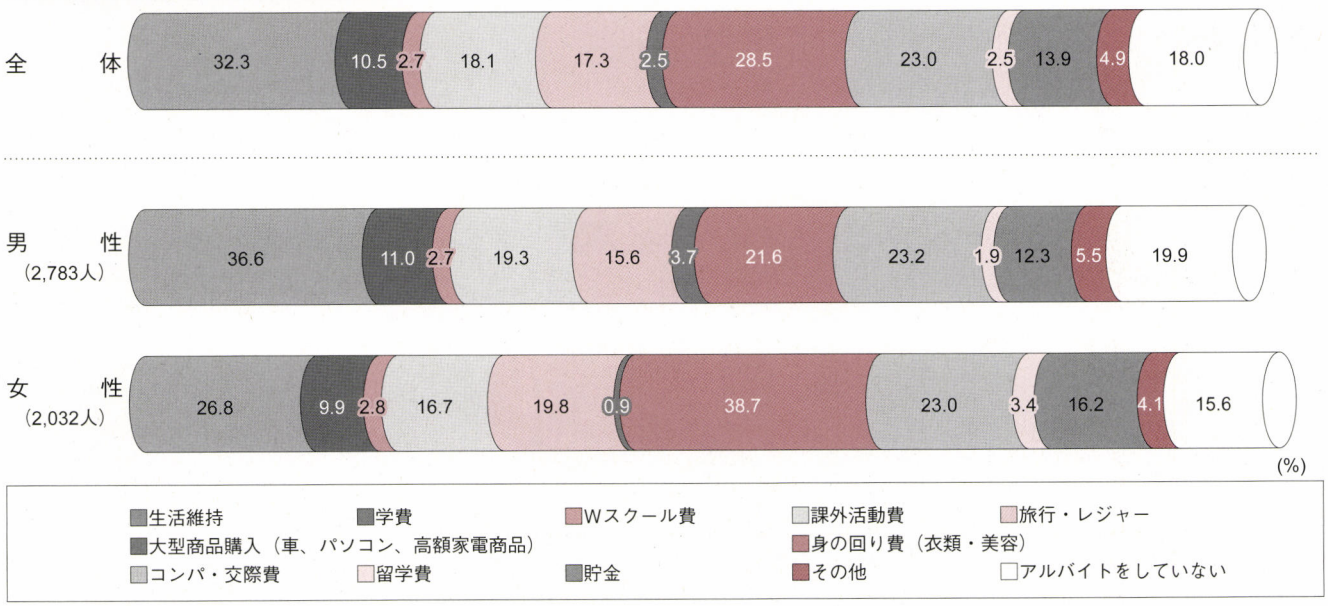
アルバイトの目的

POINT 「生活維持」**32.3%**、「身の回り費」**28.5%**、「コンパ・交際費」**23.0%**

アルバイトの目的はいろいろあるようです。「生活維持」という切羽詰まった目的が一番多くなっていますが、一方で「身の回り費」、「コンパ・交際費」という回答が２番目・３番目となっています。

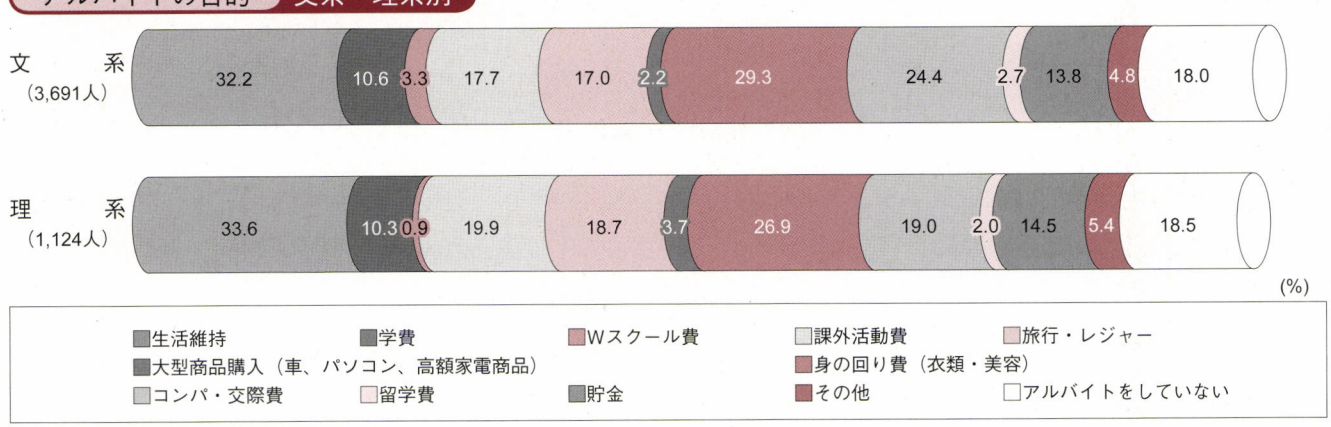
男性・女性で比較してみますと、男性では「生活維持」が女性より10ポイントほど高くなっています。女性では、「身の回り費」が男性の２倍近くになっています。比率は低いですが、男性の「大型商品購入」が女性の４倍になっているのも特徴的です。

アルバイトの目的　男女別



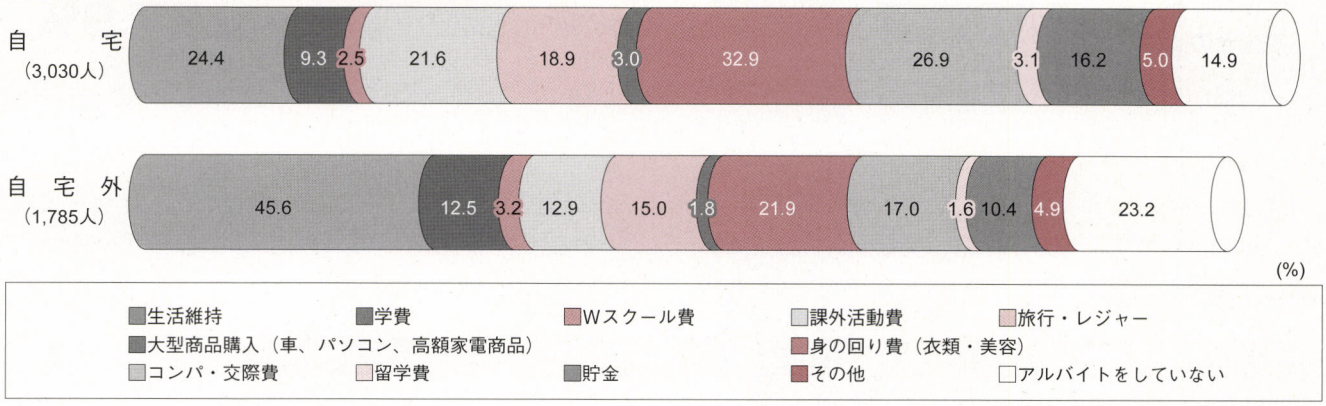
文系・理系で比較すると、全体的な傾向は同じです。より詳しく見ると、文系の場合、「コンパ・交際費」が5ポイント程度高くなっています。また、比率は低いですが、文系の「Wスクール費」が理系の場合より３倍以上になっています。

アルバイトの目的　文系・理系別



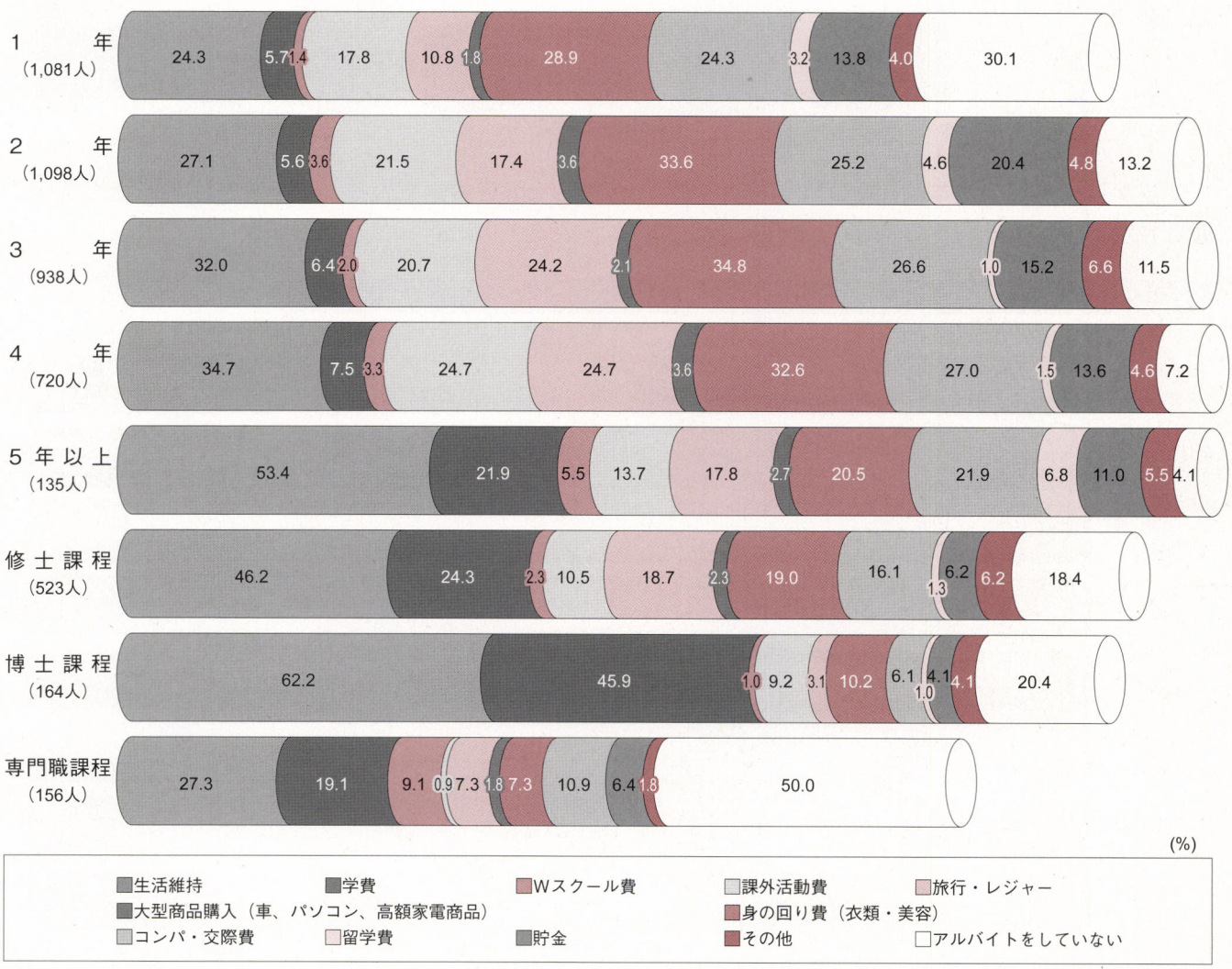
さらに、自宅・自宅外で比較してみます。自宅外では「生活維持」が自宅の場合よりも20ポイント以上高く、そのほかの目的の比率が低くなっています。特に、自宅外では「課外活動費」、「身の回り費」、「コンパ・交際費」が低くなっています。

アルバイトの目的　自宅・自宅外別



最後に、学年別に比較してみます。学年が上がると「生活維持」の比率が増大します。また、「学費」の比率も増大しています。これらは特に、5年以上・大学院学生に顕著です。それに対して、「アルバイトをしていない」の比率は学年が上がると減少しています。経済的に自立に向かう傾向が現れています。

アルバイトの目的　学年別



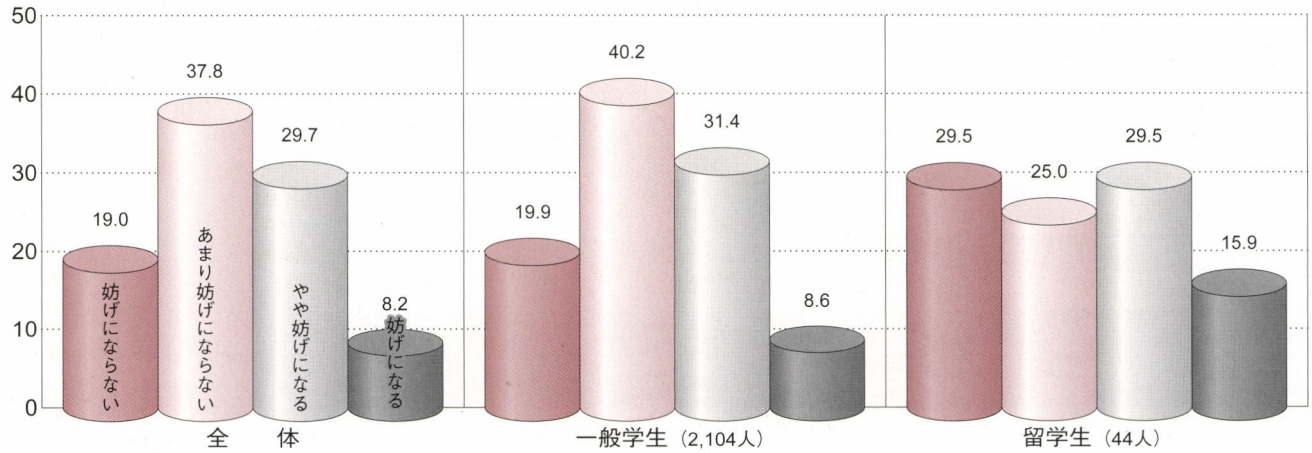
アルバイトは勉強の妨げになる

アルバイトと勉強との関係

POINT 「妨げになる」、「やや妨げになる」をあわせると**37.9%**

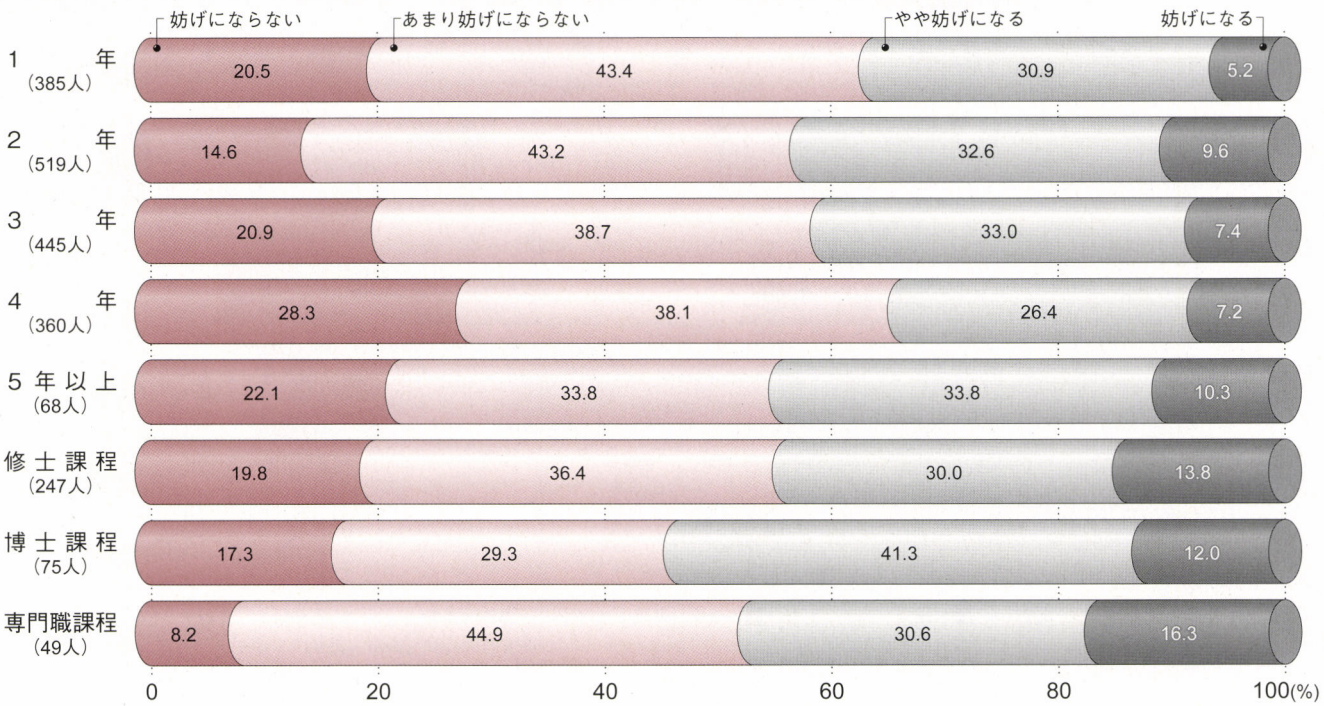
全体でみると、「妨げになる」、「やや妨げになる」が37.9%です。文系・理系、男性・女性、自宅・自宅外とそれぞれ区分しても、比率の分布は全体とほぼ同じでした。一方、一般学生・留学生で区分すると、留学生では「妨げになる」、「やや妨げになる」が45.4%でした。

定職やアルバイトは勉強の妨げになりましたか、またはなっていますか？ 学生種類別



学年別に見ると、４年は「妨げになる」、「やや妨げになる」の比率は若干低く、それに対して、博士課程の学生のそれらの比率は若干高くなっています。

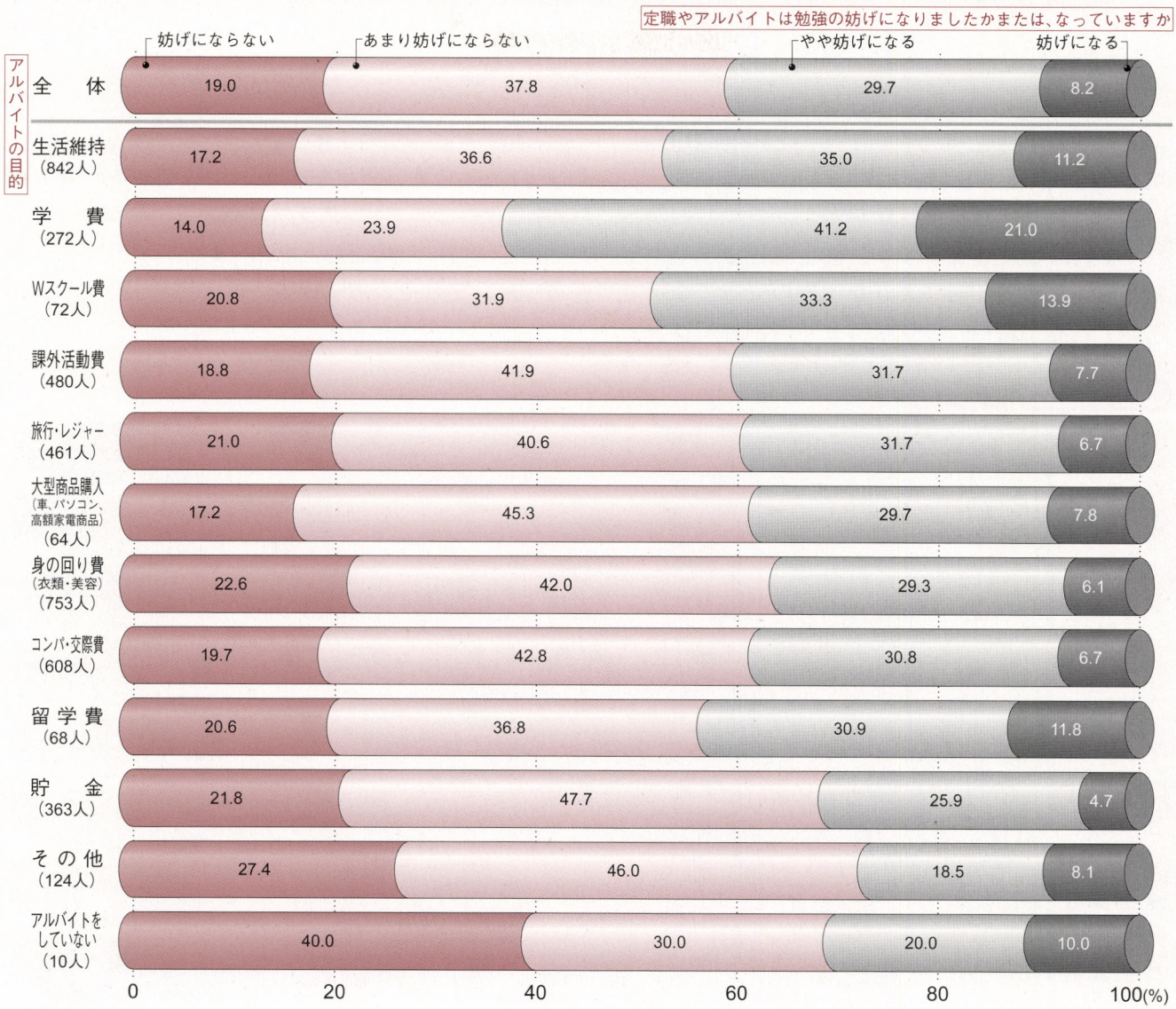
定職やアルバイトは勉強の妨げになりましたか、またはなっていますか？ 学年別



さらに、アルバイトの目的別で見てみると、「妨げになる」、「やや妨げになる」の比率が全体に対して高くなっているのは「生活維持」、「学費」、「Wスクール費」、「留学費」です。

以上のことを総合すると、勉学への影響を苦慮しながらも、アルバイトせざるを得ない学生と、趣味や娯楽のために適度にアルバイトをしている学生に分かれるようです。

クロス集計　アルバイトの目的／凡例 定職やアルバイトは勉強の妨げになりましたか、またはなっていますか？

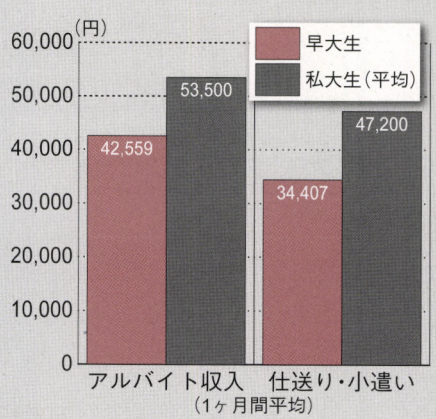


コラム

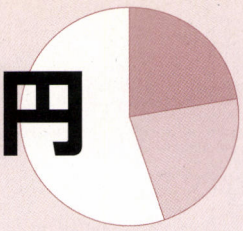
今回の調査では、本学学生のアルバイト1カ月間の平均収入は42,559円、全国123大学（私立）の学生の平均が53,500円となっており、本学学生のほうがアルバイトにおける平均収入が低くなっています。また、同様に1カ月間の仕送り・小遣いの平均額を比較しますと、本学学生の平均額が34,407円、私大生平均額が47,200円となっています。

特に、仕送り・小遣いについては、私大生平均額より約13,000円少なく、全国の私大生より本学学生の方が、親の経済的援助に頼らずに学生生活を送っていると言えそうです。

（参考）私立大学学生白書2007



平均収入は約４万円



月平均収入

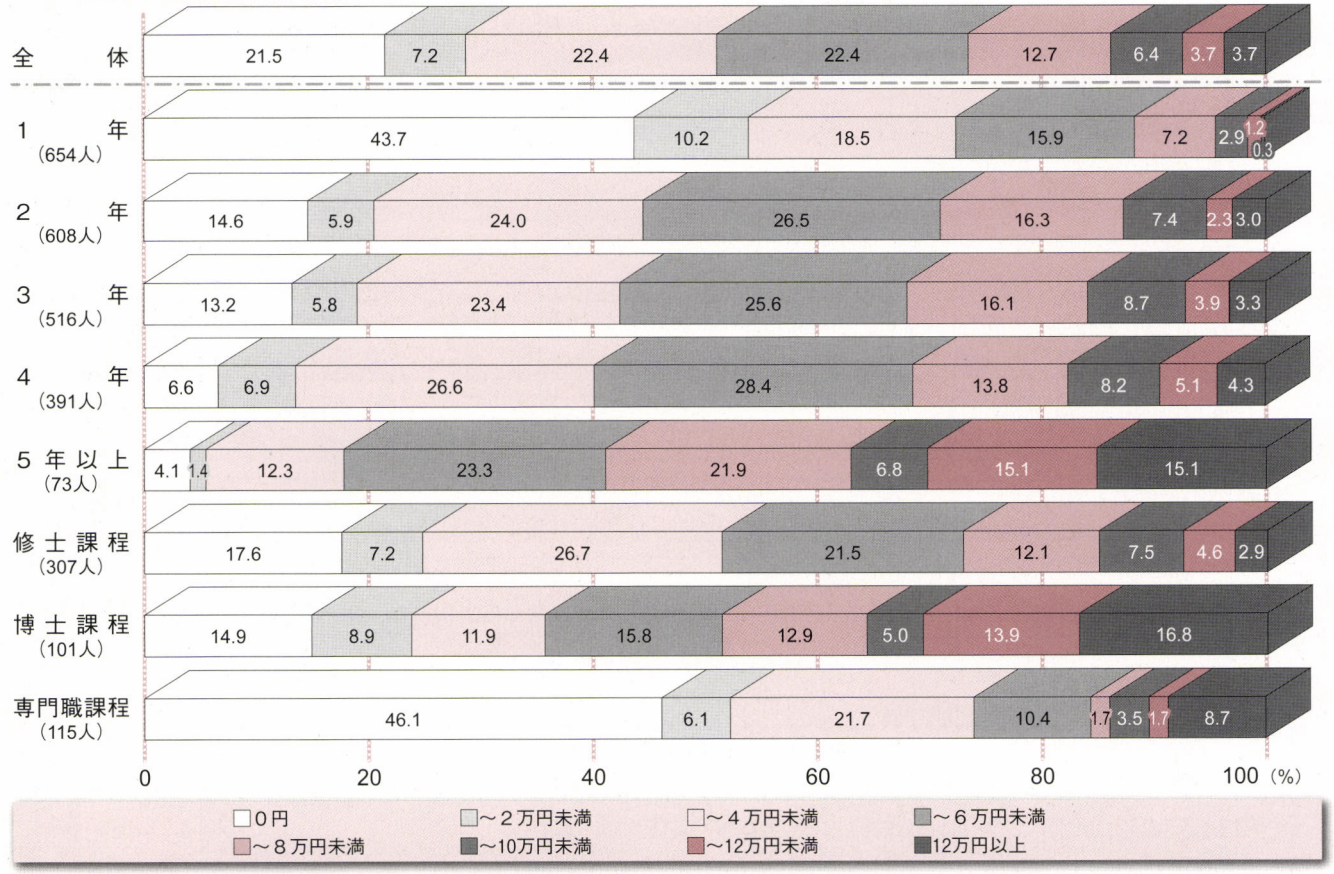
POINT 「4万円」**22.4%**、「6万円」**22.4%**

１ヶ月の平均収入は「４万円」22.4%、「６万円」22.4%、「０円」が21.5%となっています。

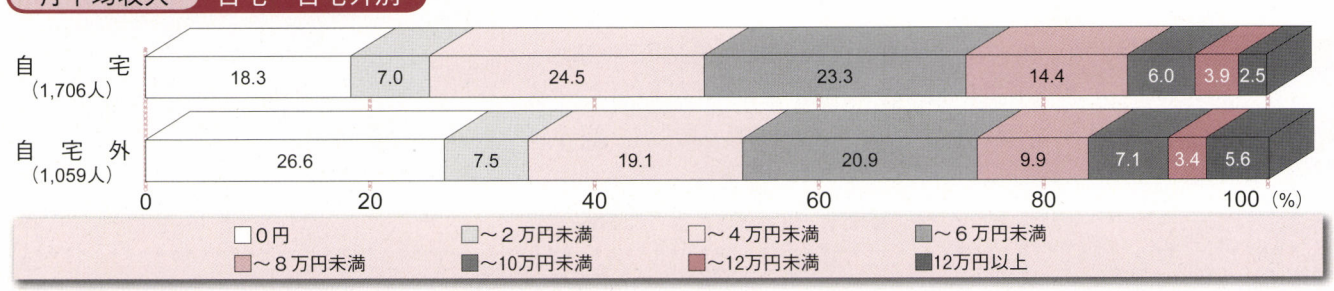
学年別に見てみると、学年が上がるにしたがって、収入は増加しています。修士課程は学部学生２年生や３年生と同じような比率の分布になっています。博士課程の場合は「８万円」程度以上が約半数を占めています。

自宅・自宅外で比較すると、自宅の方が収入が高くなっています。グラフには示していませんが、男性・女性では女性の方が、文系・理系では文系の方が、それぞれ収入が若干高くなっていました。

月平均収入　学年別



月平均収入　自宅・自宅外別



経済的に独立している人ほど勉学に意欲的

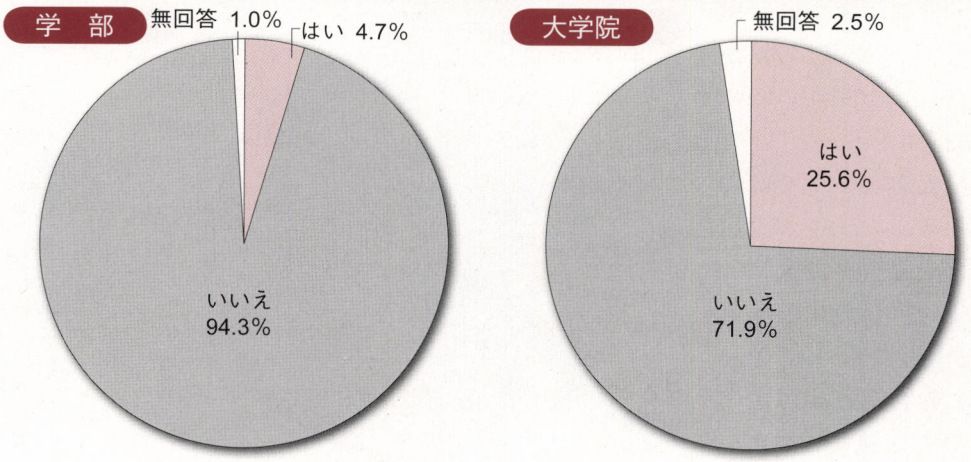
経済的な独立度

POINT 独立している学生ほど授業出席率が高い

経済的に独立しているかについて、学部学生と大学院学生とで比較すると、「はい」と回答した比率は学部学生では4.7%、大学院学生では25.6%でした。

経済的な独立度と授業平均出席率との関係を見てみると、「はい」と回答した学生の方が出席率は高くなっています。

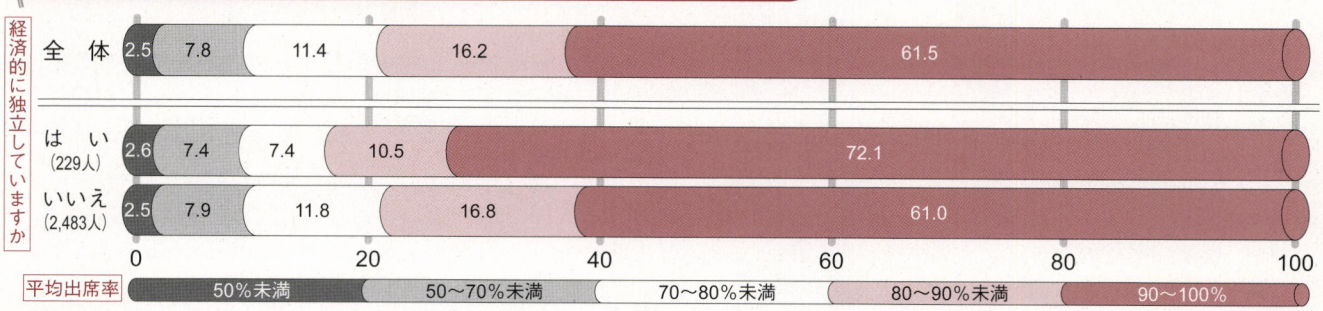
あなたは経済的に独立していますか？



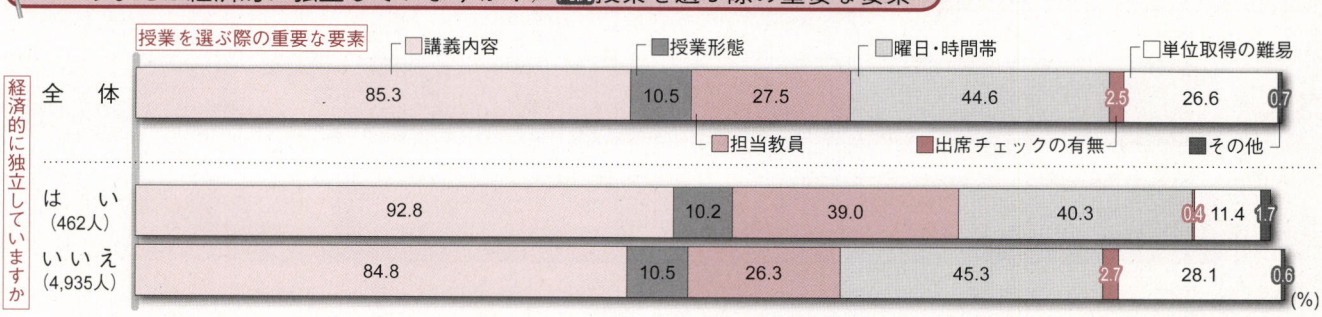
また、経済的な独立度に「はい」と回答した学生の方が、授業を選ぶ要素に関して「講義内容」「担当教員」を重視する比率が高くなっているのに対して、「いいえ」と回答した学生の方が、「曜日・時間帯」「単位取得の難易」の比率が高くなっています。

大学院学生の方が経済的な独立度は高く、しかも大学院学生の方が授業に対する熱心度が高いので、このような結果が出ているものと考えられます。一方で、自費で勉強することがもたらす意欲がこのような違いに反映されているのだとも考えられます。

クロス集計　あなたは経済的に独立していますか？／凡例 授業平均出席率



クロス集計　あなたは経済的に独立していますか？／凡例 授業を選ぶ際の重要な要素



奨学金制度はある程度充実している

奨学金制度

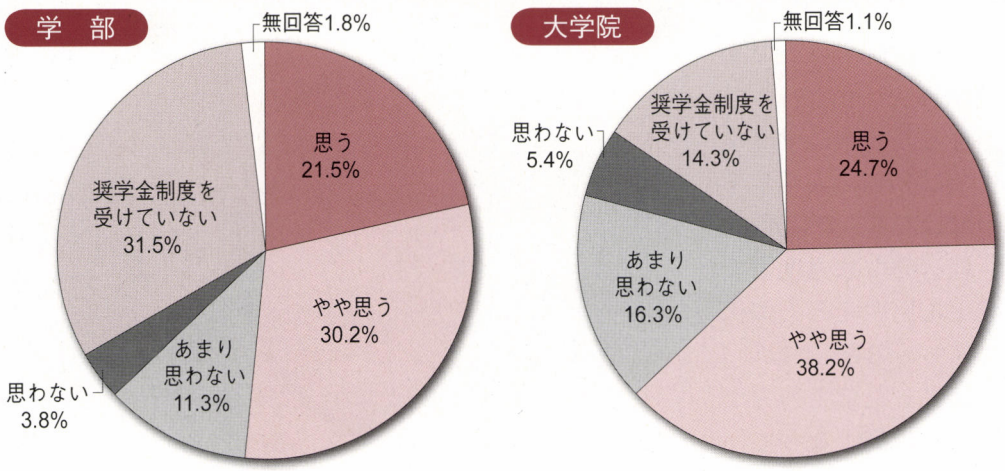
POINT 「思う」、「やや思う」をあわせると
学部学生:**51.7%**、大学院学生:**62.9%**

奨学金制度については、学部学生では「思う」、「やや思う」が51.7%、大学院学生では62.9%となっています。大学院学生ではかなり多くの学生が満足しているようです。

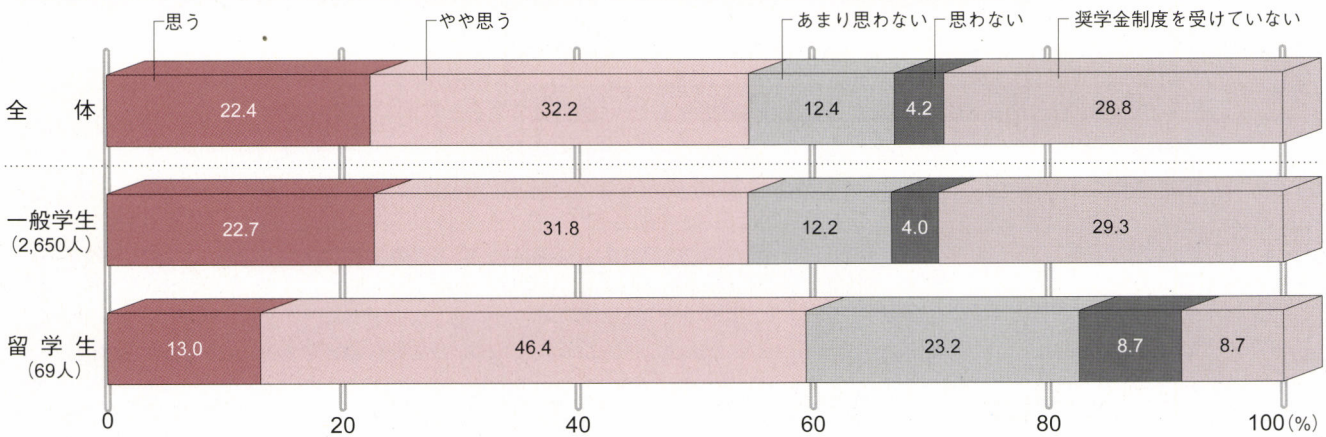
学生種類で比較すると、「思う」、「やや思う」の合計比率は留学生の方が高いものの、「思う」の比率は留学生の方が10ポイント程度低くなっています。留学生の評価からはやや消極的な印象を受けます。

文系・理系で比較すると、理系の方が充実度の評価が高くなっています。これは、大学院学生（社会人以外）が理系の方が多いことと関連しているのでしょう。

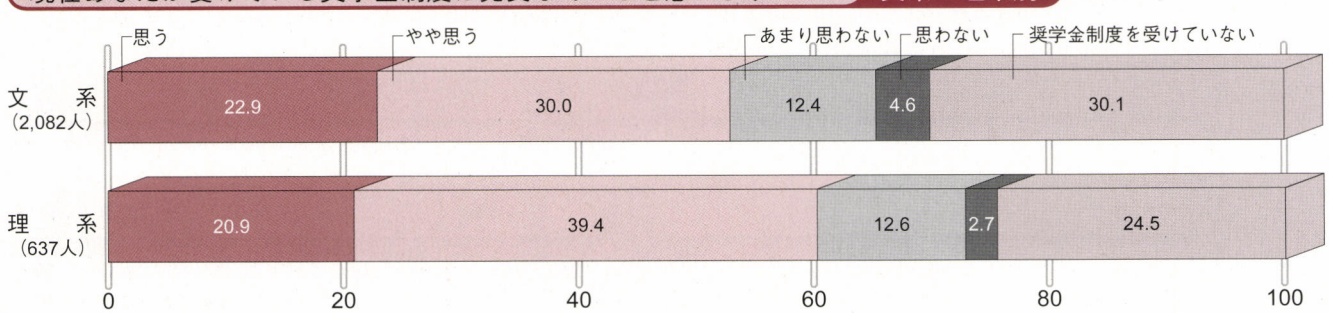
現在あなたが受けている奨学金制度は充実していると思いますか？



現在あなたが受けている奨学金制度は充実していると思いますか？　学生種類別

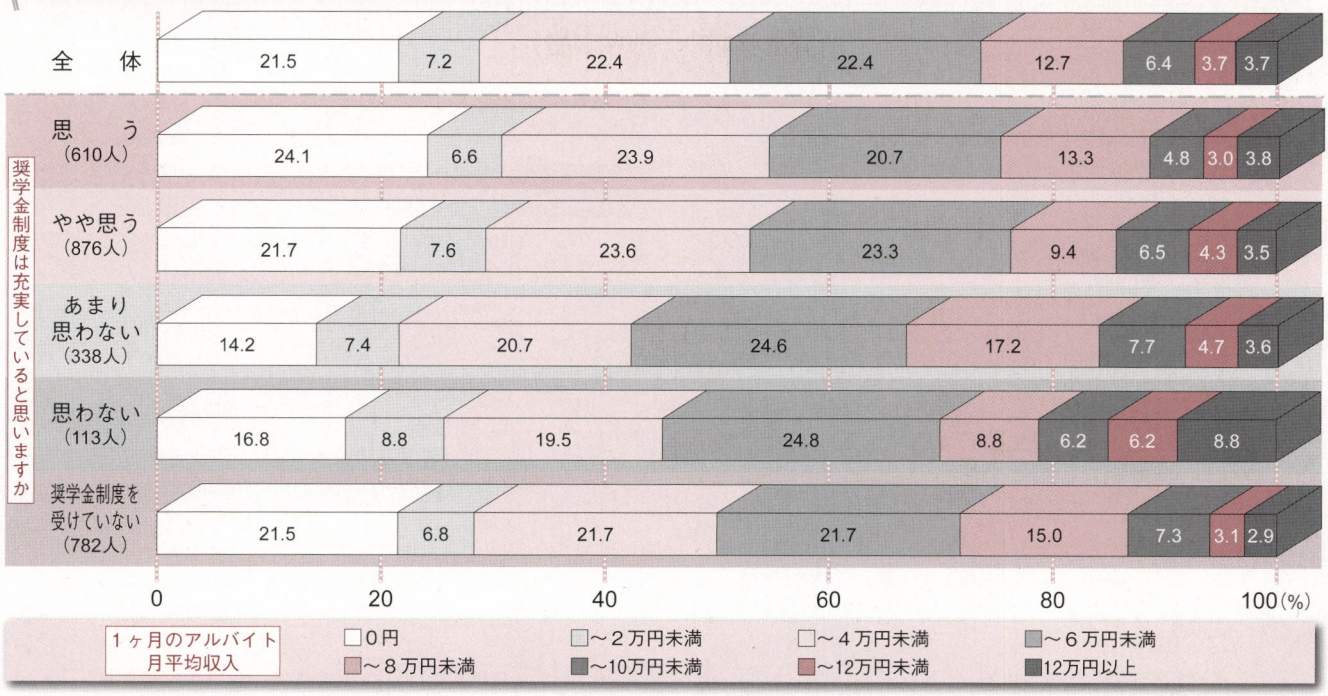


現在あなたが受けている奨学金制度は充実していると思いますか？　文系・理系別



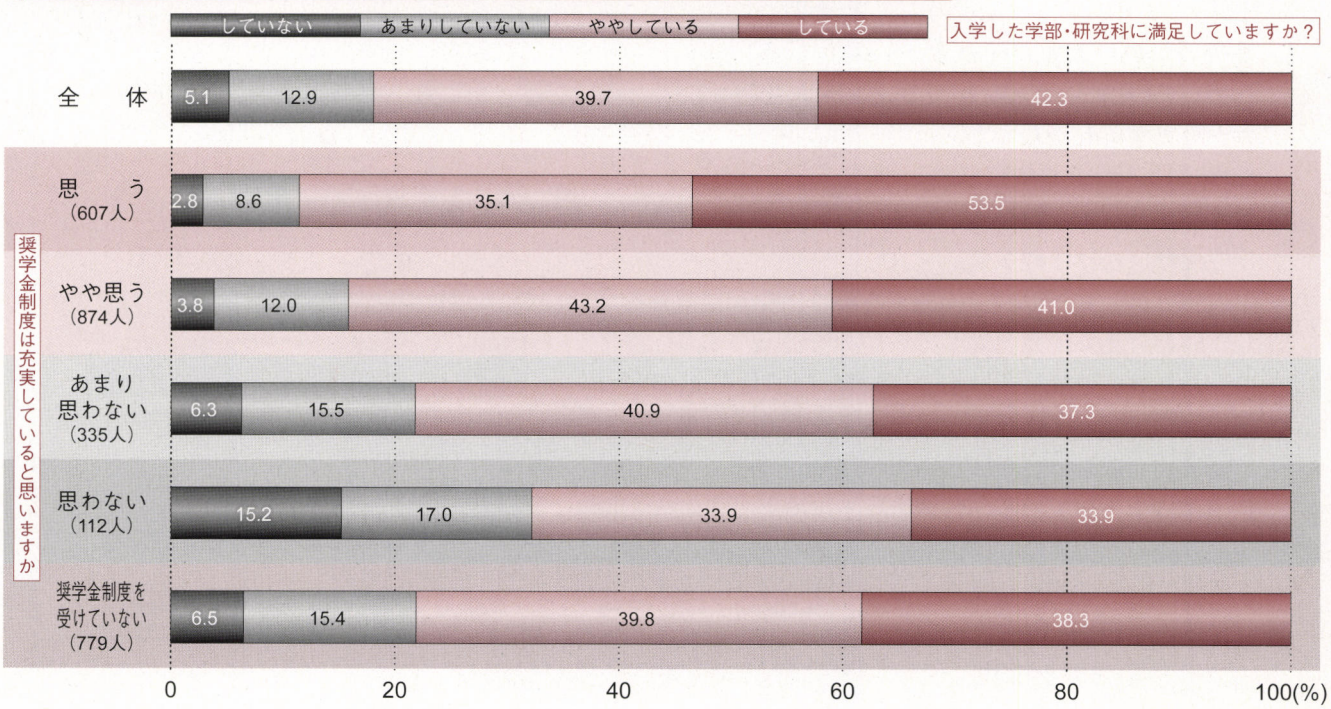
奨学金制度の充実と１ヶ月のアルバイトの平均収入の関係を見てみましょう。「思う」、「やや思う」、「奨学金制度を受けていない」では、１ヶ月の平均収入の傾向はほぼ同じです。一方、「あまり思わない」、「思わない」の場合は、平均収入が多くなっているようです。奨学金制度が十分でないから、アルバイトをもっとしなければならないという要因が背後にあるのだと思われます。

クロス集計　現在あなたが受けている 奨学金制度は充実していると思いますか？／凡例 １ヶ月のアルバイト平均収入



奨学金制度の充実と入学した学部・研究科への満足度との関係を見てみます。「充実している」という回答と「満足している」という回答には正の相関があります。「奨学金制度を受けていない」と回答した学生の満足度の比率の分布は「あまり思わない」と回答した学生の満足度の比率の分布と同じ傾向にあります。

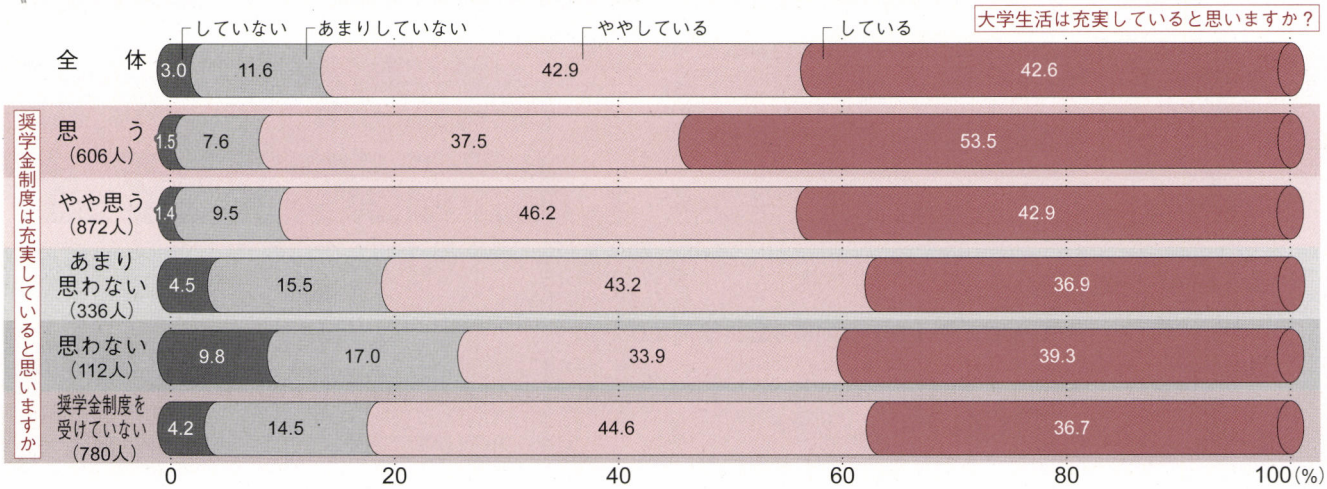
クロス集計　現在あなたが受けている奨学金制度は充実していると思いますか？／凡例 入学した学部・研究科に満足していますか？



奨学金制度の充実と大学生活の充実度との関係を見てみます。これも、「奨学金制度が充実している」という回答と「大学生活が充実している」という回答には正の相関があります。先ほどと同様、「奨学金制度を受けていない」と回答した学生の大学生活充実度の比率の分布は「あまり思わない」と回答した学生の大学生活充実度の比率の分布と同じ傾向にあります。

奨学金制度が、学生の大学生活の満足度・充実度と密接に関係していることがわかります。

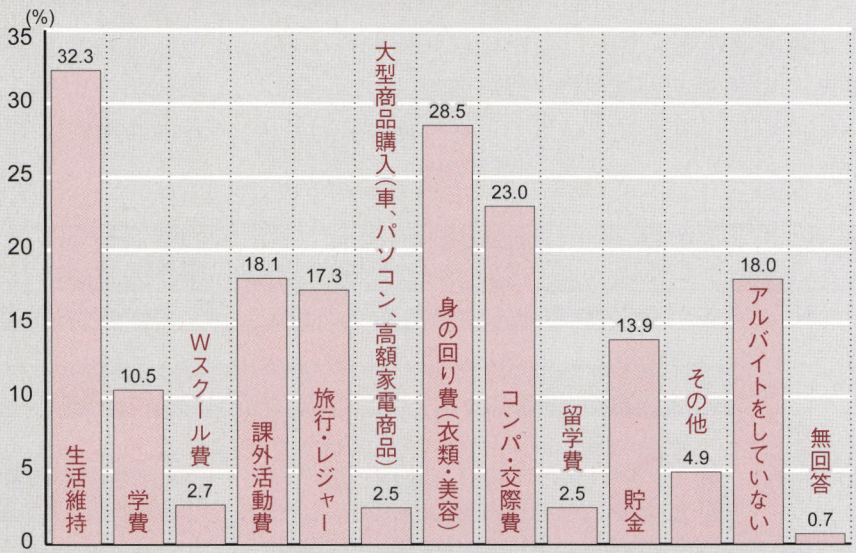
クロス集計 現在あなたが受けている奨学金制度は充実していると思いますか？／凡例 大学生活は充実していると思いますか？

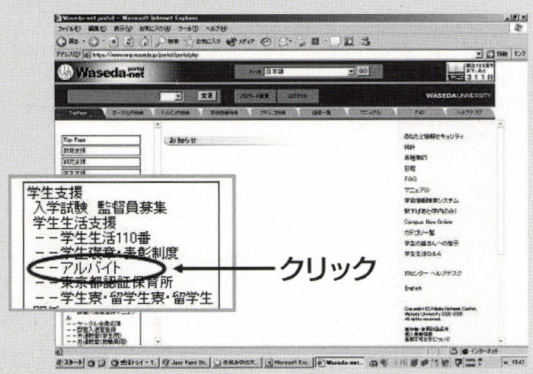


コラム

全体の18%がアルバイトを「していない」と回答しています。つまり、それ以外の82%の学生は、なんらかの目的でアルバイトに従事していて、その目的には、「生活維持」・「学費」・「Wスクール費」・「課外活動費」・「留学費」などで、学業・生活の維持のためにアルバイトをしている学生も多いことがわかります。しかしながら、なかには、悪質な家庭教師派遣業者もおり、大学では注意を呼びかけています。

アルバイトの目的は？［複数回答可］



大学では、キャンパス内のアルバイトや家庭教師をしたいと考える学生に対しての紹介を行っており、キャンパス外の一般アルバイト・塾講師に関しては、「早稲田大学アルバイト紹介システム」を利用し、紹介しています。これは、財団法人学生サポートセンターが指導する学生アルバイト情報ネットワークです。

アルバイト情報は、「Waseda-netポータル」→「学生生活」→「学生生活支援」→「アルバイト」を参照してください。